

どんな効果があるのか？ユニークな新人研修(第2回)

“切り抜ける力”が身に付く！ヒッチハイク研修

2017.04.27



財布やスマートフォンなど、何も持たずに50～100km先の目的地にたどり着く。臨機応変な対応力とコミュニケーション能力が高まりそうな研修を行っている会社が、イカイです。

静岡県沼津市に本社を置くイカイは、日本一の請負会社を標榜する企業で、製造請負および製造派遣などで事業を展開しています。さまざまな業種に即戦力となる人材を派遣しており、常に多種多様な依頼があるそうです。当然、社員には臨機応変な対応力が求められます。

今回は、同社が新入社員向けに行っている、不測の事態への対応力を培う「ミッション型」の研修を紹介します。

不測の事態をどう切り抜ける？試される「即応力」

イカイの社員が派遣される業種は多種多様です。主にもものづくりの現場ですが、生産の実務から管理まで、さまざまな業務を担当します。そのため、初めて行く現場や初めて出会う人々ともスムーズになじまなければならない、対応力とコミュニケーション能力が必須となります。

そんな対応力とコミュニケーション能力を身に付けるために、同社が行っているのが「ヒッチハイク研修」です。

新入社員は、財布とスマートフォンを研修担当者に預け、2人1組で50～100kmもの距離を移動します。必然的にヒッチハイクすることになります(場所や距離は年度によってさまざま)。お金も連絡手段もない状態で、見知らぬ人に何とか頼みこんで車に乗せてもらい、本社や研修会場といった目的地をめざすのです。

入社早々に極限状態に追い込まれて、助けもなく、自力で全てを解決しなくてはならないというのは、くじけてしまいそうな厳しい試練です。しかし、初見の現場でもすぐに適応力が求められるイカイの業務に慣れるために、こうした研修が開発されました。成功体験を得てもらうのが最大の目的だといいます。参加者からは「少々のことではへこたれない自信が付いた」といった感想が寄せられているそうです。

“スパルタ研修”には相応の見返りを… 続きを読む